



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インターアクション

コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木地 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中瀧 明男

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	477	79.9	67	—	68	—	67	—
23年5月期第2四半期	265	34.3	△77	—	△88	—	△70	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 66百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	921.14	900.05
23年5月期第2四半期	△1,162.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,428	620	43.3
23年5月期	1,403	544	38.6

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 618百万円 23年5月期 542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	99.3	200	—	210	—	210	—	2,876.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年5月期2Q	76,761 株	23年5月期	76,361 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	3,756 株	23年5月期	3,756 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年5月期2Q	72,745 株	23年5月期2Q	60,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、欧州諸国の信用不安増大に端を発した、景気先行きへの不安と消費者需要の不振が、先進国を中心に拡大したことから、先行き不透明な状況で推移いたしました。そうした中、当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいては、今後高い成長性が期待されるスマートフォン市場に向けた設備投資の動きが活発化いたしました。当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、回復基調にて推移いたしました。太陽光発電関連製品につきましては、ソーラーファーム事業の運営会社を設立し、実証実験を開始するとともに、その商品化を行い、「OHISAMASYSTEM」として外販を開始いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は477百万円（前年同四半期の売上高265百万円に比し、79.9%の増加）、販売費及び一般管理費は198百万円（前年同四半期の販売費及び一般管理費182百万円に対し、15百万円の費用増加）、営業利益は67百万円（前年同四半期の営業損失77百万円に対し、144百万円の利益増加）、貸与資産賃貸料及び貸与資産諸費用等を加減した経常利益は68百万円（前年同四半期の経常損失88百万円に対し、156百万円の利益増加）、四半期純利益は67百万円（前年同四半期の四半期純損失70百万円に対し、137百万円の利益増加）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（光源装置）

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、半導体メーカーの生産設備の増強に伴う光源装置本体への受注が堅調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は454百万円（前年同四半期の売上高219百万円に比し、106.8%の増加）、営業利益は244百万円（前年同四半期の営業利益84百万円に対し、160百万円の利益増加）となりました。

（太陽光発電関連製品）

太陽光発電関連製品につきましては、平成23年6月にソーラーファーム事業の運営会社としておひさま農場株式会社を設立し、平成23年7月より実証実験を開始いたしました。連結子会社である株式会社BIJにおいては、遊休地活用のための「OHISAMASYSTEM」を商品化し、平成23年9月より外販を開始いたしました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間においては、取扱い製品の切り替えを進めたことから、売上高への貢献は少額に留まりました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は9百万円（前年同四半期の売上高43百万円に比し、77.0%の減少）、営業損失は23百万円（前年同四半期の営業損失18百万円に対し、4百万円の損失増加）となりました。

なお、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業に関しては、当社がソロモン諸島政府と共同で提案しており、主として来期以降の実施期間2年間で約3億円の売上高を見込む「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトが、平成23年11月に太平洋諸島フォーラム事務局（PIFS）より承認されました。

（その他）

当第2四半期連結累計期間における画像検査装置の外部顧客に対する売上高は13百万円（前年同四半期の売上高2百万円）、営業利益は4百万円（前年同四半期の営業利益0.9百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、1,428百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、911百万円となりました。これは、現金及び預金が207百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が152百万円並びにたな卸資産が54百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、516百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、807百万円となりました。これは、買掛金が52百万円増加したものの、社債の償還40百万円と借入金の返済70百万円があったこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、620百万円となりました。これは、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加9百万円並びに四半期純利益67百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、408百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは85百万円の支出（前年同四半期は10百万円の支出）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益68百万円の計上及び仕入債務の増加52百万円があったものの、売上債権の増加157百万円及びたな卸資産の増加69百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは89百万円の収入（前年同四半期は9百万円の収入）となりました。これは、定期預金の払戻による収入110百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは98百万円の支出（前年同四半期は91百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による支出110百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、連結経営成績については概ね計画通り推移していることから、現時点におきましては、平成23年12月19日に発表いたしました通期の連結業績予想について変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する重要事象等の解消について)

当社グループは、前々連結会計年度において営業損失362百万円、前連結会計年度において営業損失79百万円を計上しており、継続的な損失の発生により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しておりました。

この状況に対して、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高の増加及び経費削減等により、営業利益を計上することとなりました。また、今後につきましても、スマートフォン市場の急伸に伴う当社主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置の受注拡大、太陽光発電関連製品の販売チャネルの拡大、徹底したコスト削減等に注力し、ますますの業績の回復と収益構造の改善に取り組むこととしており、当連結会計年度の業績予想は売上高1,250百万円、営業利益200百万円を見込んでおります。

従いまして、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は解消されたと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	615,203	408,135
受取手形及び売掛金	75,424	228,063
商品及び製品	60,887	41,257
仕掛品	74,135	156,525
原材料及び貯蔵品	66,241	58,476
その他	47,670	21,926
貸倒引当金	△44,158	△3,315
流動資産合計	895,404	911,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	241,189	234,942
土地	127,579	127,579
その他（純額）	16,239	30,271
有形固定資産合計	385,007	392,793
無形固定資産		
その他	3,994	3,360
無形固定資産合計	3,994	3,360
投資その他の資産		
投資有価証券	212,256	212,256
その他	139,352	184,694
貸倒引当金	△232,255	△276,163
投資その他の資産合計	119,352	120,787
固定資産合計	508,354	516,941
資産合計	1,403,759	1,428,010
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,237	80,309
短期借入金	40,000	80,000
1年内償還予定の社債	80,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	207,713	205,906
未払法人税等	4,254	3,674
製品保証引当金	3,365	6,221
その他	67,284	71,667
流動負債合計	430,854	497,779
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	390,133	281,830
退職給付引当金	7,145	7,670
その他	21,511	20,304
固定負債合計	428,789	309,804
負債合計	859,644	807,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,153	255,983
資本剰余金	1,818,304	1,823,133
利益剰余金	△1,073,552	△1,006,544
自己株式	△448,798	△448,798
株主資本合計	547,107	623,773
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,642	△4,998
その他の包括利益累計額合計	△4,642	△4,998
新株予約権	1,650	1,650
純資産合計	544,114	620,425
負債純資産合計	1,403,759	1,428,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	265,645	477,973
売上原価	160,170	212,158
売上総利益	105,475	265,814
販売費及び一般管理費	182,504	198,127
営業利益又は営業損失(△)	△77,029	67,687
営業外収益		
受取利息	1,223	1,087
受取配当金	0	1
貸与資産賃貸料	2,532	20,920
その他	4,667	3,926
営業外収益合計	8,423	25,935
営業外費用		
支払利息	8,114	6,621
為替差損	4,418	750
貸与資産諸費用	431	7,373
新株予約権発行諸費用	1,533	6,001
その他	5,283	4,730
営業外費用合計	19,781	25,477
経常利益又は経常損失(△)	△88,387	68,145
特別利益		
製品保証引当金戻入額	7,539	—
貸倒引当金戻入額	11,374	—
その他	18	—
特別利益合計	18,933	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△69,454	68,145
法人税、住民税及び事業税	1,094	1,137
法人税等合計	1,094	1,137
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,548	67,008
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,548	67,008

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,548	67,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	—
為替換算調整勘定	△1,751	△355
その他の包括利益合計	△1,876	△355
四半期包括利益	△72,425	66,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,425	66,652
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△69,454	68,145
減価償却費	11,764	9,475
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,176	3,064
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△6,590	2,856
退職給付引当金の増減額(△は減少)	399	525
受取利息及び受取配当金	△1,223	△1,088
支払利息及び保証料	8,869	7,325
為替差損益(△は益)	4,660	825
たな卸資産評価損	19,678	14,839
売上債権の増減額(△は増加)	85,396	△157,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	37,863	△69,834
仕入債務の増減額(△は減少)	△51,574	52,072
その他	△12,626	△7,629
小計	1,985	△76,678
利息及び配当金の受取額	186	50
利息及び保証料の支払額	△10,890	△7,045
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,927	△2,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,646	△85,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△125	—
定期預金の払戻による収入	10,104	110,108
有形固定資産の取得による支出	△439	△18,898
無形固定資産の取得による支出	—	△188
投資有価証券の売却等による収入	252	—
敷金の差入による支出	—	△2,530
敷金の回収による収入	—	510
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,792	89,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	40,000
長期借入れによる収入	80,000	—
長期借入金の返済による支出	△148,477	△110,108
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17,690	9,612
自己新株予約権の処分による収入	—	1,600
配当金の支払額	△249	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,036	△98,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,271	△1,173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△98,162	△96,958
現金及び現金同等物の期首残高	250,187	505,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	152,025	408,135

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	219,938	43,268	263,206	2,438	265,645
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	15,746	15,746	—	15,746
計	219,938	59,014	278,953	2,438	281,391
セグメント利益又は損失(△)	84,528	△18,240	66,288	958	67,246

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」及び「セキュリティ関連製品」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	66,288
「その他」の区分の利益	958
セグメント間取引消去	1,596
全社費用(注)	△126,193
たな卸資産の調整額	△19,678
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△77,029

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	454,724	9,950	464,674	13,298	477,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	454,724	9,950	464,674	13,298	477,973
セグメント利益又は損失（△）	244,991	△23,182	221,808	4,100	225,909

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	221,808
「その他」の区分の利益	4,100
全社費用（注）	△143,382
たな卸資産の調整額	△14,839
四半期連結損益計算書の営業利益	67,687

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日）

当社は、平成22年7月29日付けの第5回新株予約権の一部行使（40個）により、第1四半期連結会計期間において資本金が9,658千円、資本準備金が9,658千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が110,141千円、資本剰余金が1,677,292千円となっております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日）

当社は、当第2四半期連結会計期間における第5回新株予約権の一部行使（20個）により、資本金が4,829千円、資本準備金が4,829千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が255,983千円、資本剰余金が1,823,133千円となっております。